

鹿大が1人派遣 産科医3人体制 鹿屋医療センター

鹿児島県は10月から、鹿児島大学病院の協力を得て県民健康プラザ鹿屋医療センター(鹿屋市)に産婦人科医1人を派遣する。同

センターの産科医は計3人となり地域の産科医の負担軽減につながると期待されている。

県医療人材確保対策室によると、県は2018年度の新規事業として、産科医確保に向け鹿大病院と連携。人件費の一部として70

0万円を助成する。

大隅地域は産科医不足が特に切迫した状態にあるとして、地域の中核となる同センターへの配置を決めた。派遣は10月1日から常勤。19年度以降については決まっていない。

27日の定例会見で三反園訓知事が明らかにした。三反園知事は「どこに住んでいても子どもを安心して産み育てられる環境づくりに取り組み」と話した。

(野村真子)